

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 関ヶ原町

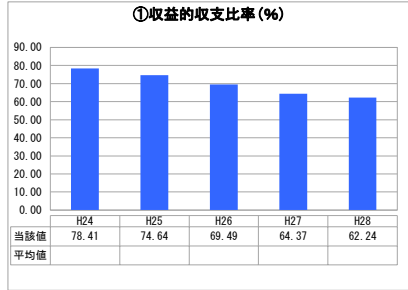
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	19.97	90.00	3,950

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,405	49.28	150.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,460	0.51	2,862.75

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



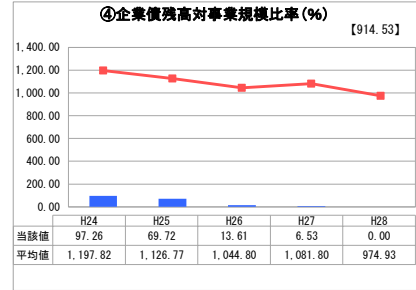
「単年度の収支」



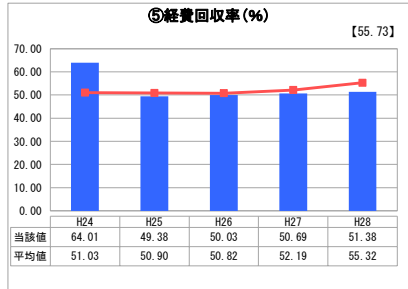
「累積欠損」



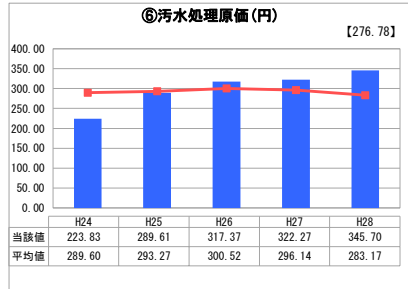
「支払能力」



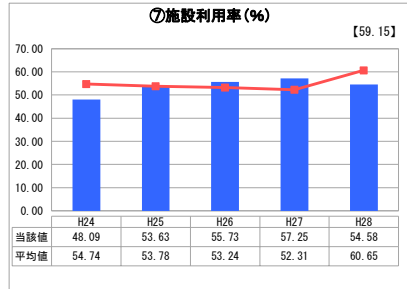
「債務残高」



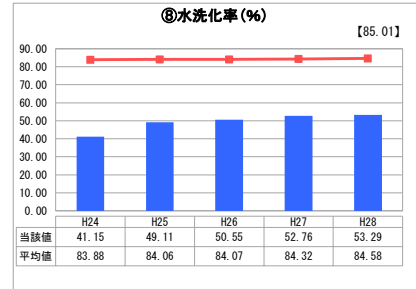
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

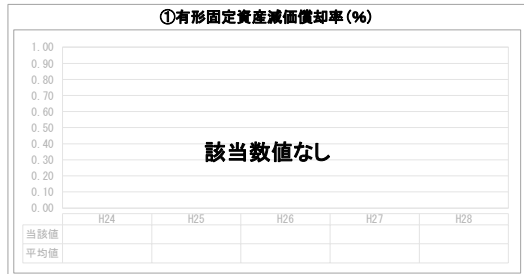


「施設の効率性」

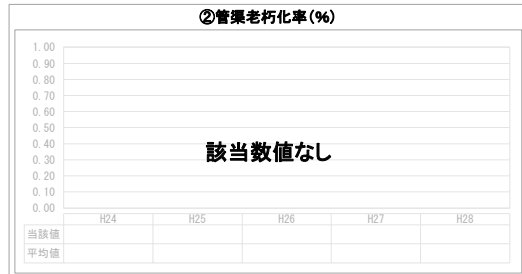


「使用料対象の捕捉」

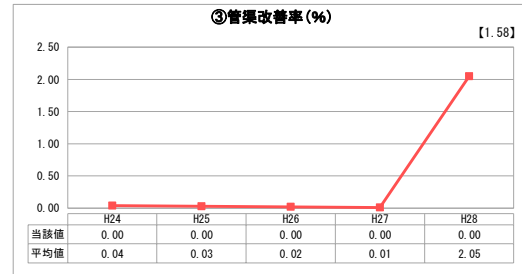
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は年々減少傾向であり、地方債償還金の返済があるが、使用料収入が横ばいになっていることが理由と考えられる。企業債務高対事業規模比率が低いのは、一般会計からの繰入金により企業債の償還が賄えており、一般会計繰入金の依存度が高い事業であるためである。汚水処理原価が高くなっているのは、人口減高齢化により新規繋ぎ込みが減少し、水洗化率が低迷し、有収水量が伸び悩んでいるためである。

2. 老朽化の状況について

玉処理区は施設老朽化のため、平成30年度に公共下水道への接続工事を行う。今須処理区は平成22年度供用開始した施設であるが、適正な維持管理が必要である。

全体総括

今須処理区にて水洗化率が低いため(53.5%)、町広報紙掲載や個別訪問等接続促進の取り組みを強化する。計画的、効率的な維持管理に努め、ライフサイクルコストの削減に努める。又、発生汚泥の農地還元(肥料)を行っており、水資源・有機資源のリサイクルを推進する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。